

10年間、交通安全見守り ごくろうさまでした

小学校の長期休み明けに、滝山中央通りの2か所で実施してきた自治会の交通安全見守りは、今年4月の活動をもっていったん中止することになりました。参加者の確保が難しくなったためです。

見守り活動は2014年9月1日に始まり、毎年、夏休み明け、冬休み明け、春休み明けの年3回、各2~3日ずつ実施してきました。2019年からは5月の連休明けにも実施するようになりました。場所は滝山団地入口バス停横の横断歩道と滝山公園南交差点。午前7時45分から8時15分までの30分。参加者は2か所に分かれ、黄色の「横断中」の小旗を持ち、登校する児童を誘導、見守りました。

実施回数は10年で70回(70日)。協力していただいた方は多い時で1回12人、少ない時で3人、平均5.5人。33人の自治会員に交代で参加していただきました。

※10回以上参加の人は9人、3回以上は17人。池田さん、加藤さん、佐々木(眞)さんのご夫婦で何年にも渡って参加していただいたほか、西原さん、里見さん、故村野建彦さんも「常連」として参加していただきました。感謝。

子どもたちが前沢四丁目から九小に登校するにはもっぱらこの2か所で滝山中央通りを横断するしかありません。毎年ほぼ90人~100人の生徒がこの交通量の多い通りを登下校します。

2015年2月、公園南交差点で死亡事故(※注)が発生するまではバス停前横断歩道6割、公園南交差点4割くらいの人数比率でしたが、事故発生後は学校側の指導もあったようで、横断歩道7割、交差点3割くらいと遊歩道側を利用する児童が多くなりました。

朝の忙しい時間帯、注意するのは車だけでなく自転車の信号無視も多くみられ危険なケースもしばしば。見守り活動は気が抜けませんでした。新1年生、2年生にはお母さん、お父さんが中央通りまで心配そうに付いてくるのがよく見かけられました。

下校時もやってほしい、消防団前の通りの遊歩道を渡る地点の見守りもという声もありましたが、自治会の対応力から長期休み明けの2~3日だけの登校時に限定せざるをえませんでした。少しでも子どもたちの安全に貢献できていたとすれば何よりです。なお、この間(2000年)、西中地区青少協から4回にわたり3人の方が、また、田無警察から2回、共同で見守りをしたいと申し入れがあり参加していただきました。この場を借りて感謝申し



30回近く参加した故池田祥子さん



熱心に、温かく佐々木眞次さん(2014.9)

上げます。併せて、九小の校長先生、副校長先生からはお忙しい中しばしば現場までお礼の挨拶に来ていただきました。ありがとうございました。

※注 今から考えると信じられないかもしれませんが、滝山公園南交差点の滝山公園通り側には横断歩道はあったものの「歩行者用信号」はありませんでした。自治会は何度か信号を設置するよう申し入れていましたが、市は「警察に申し入れる」と型通りの回答のみ。2015年2月6日の同所での死亡事故（横断歩道を渡ろうとした自転車に団地センター方面から来た貨物車が滝山公園道路の方に左折しようとして衝突、自転車の女性が死亡）の直後に警視庁が来て実況検分。その後ようやく歩行者用信号が設置されました。人が死なないと信号ひとつ置けないのかとやるせない気持ちになったものでした。なお、この事故の前日2月5日、すぐ近くの滝山中央通りと西中通りの交差点、菓子どころあかぎの前でも死亡事故が起きていました。